

伊方地域原子力防災協議会作業部会 関係機関一覧

内閣府
愛媛県
愛媛県警察本部
山口県
山口県警察本部
大分県
海上保安庁
防衛省
原子力規制庁
経済産業省

《 オブザーバー 》

伊方町
八幡浜市
大洲市
西予市
宇和島市
伊予市
内子町
上関町
四国電力（株）

1 訓練の目的

伊方発電所で事故が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

2 実施日時

令和2年10月22日(木) 8:30~15:00

3 実施場所

愛媛県庁ほか、発電所を中心とした概ね半径30km以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

4 訓練項目

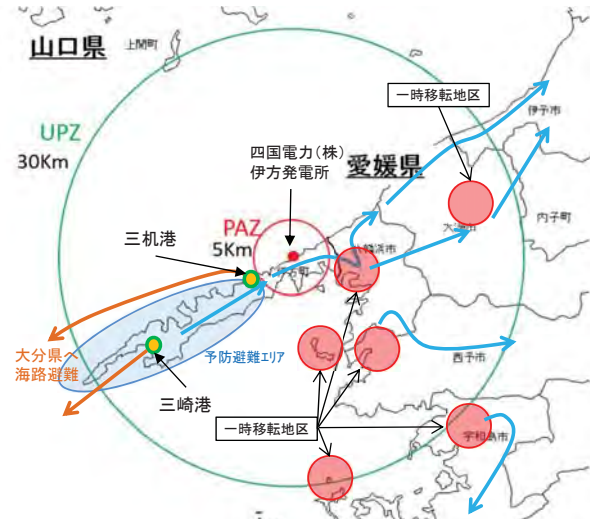
- | | |
|---------------------|-----------------|
| (1) 緊急時通信連絡訓練 | (2) 緊急時Eメール訓練 |
| (3) 災害広報訓練 | (4) 災害対策本部訓練 |
| (5) オフサイトセンター運営訓練※1 | (6) 原子力災害医療活動訓練 |
| (7) 自衛隊等災害派遣要請訓練 | (8) 住民避難・誘導訓練 |
| (9) 要配慮者避難訓練 | (10) 交通規制訓練 |
| (11) 発電所内緊急時対応訓練 | (12) 道路啓開訓練 |

※1 オフサイトセンター運営訓練は11/26に実施

※2 伊方町に配備しているドローンの飛行ルート設定の自由化のほか、JAXA及び(株)エヌ・ティ・ティ・データと共同で県消防防災ヘリの指示により、ドローンが退避する実機飛行実証実験を実施。

5 参加機関及び参加人数

97機関 約20,000人



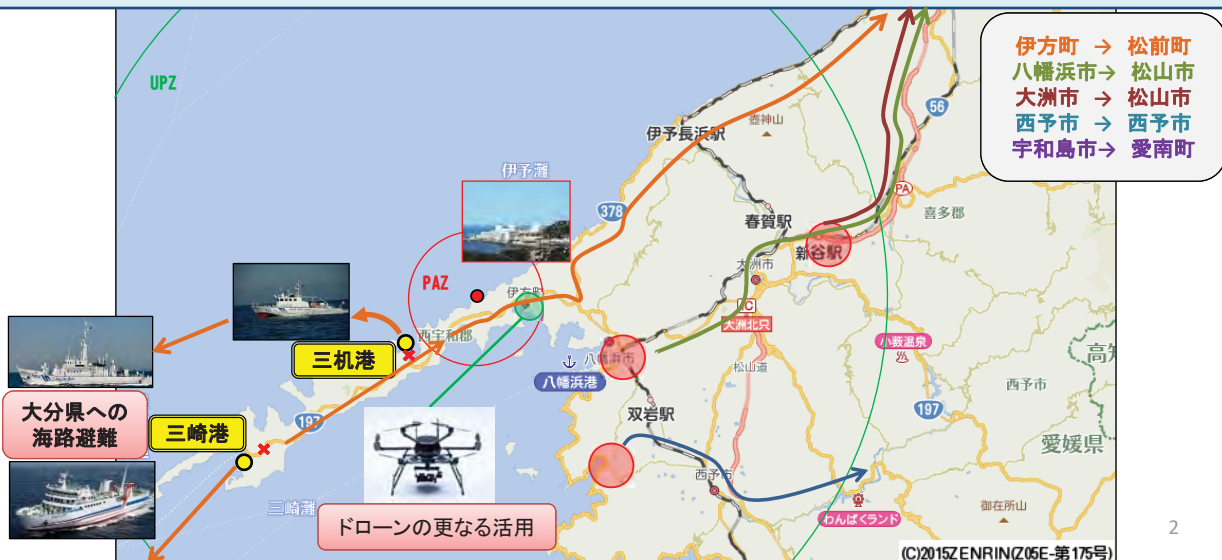
※PAZ(予防的防護措置を準備する区域)
(Precautionary Action Zone)
※UPZ(緊急時防護措置を準備する区域)
(Urgent Protective Action Planning Zone)
※予防避難エリア
(PAZに準じた避難等の防護措置を準備する区域)

<訓練想定>

- 県内で感染症が流行。
- 地震発生に伴い、伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、全交流電源の喪失及び1次冷却材の漏えいが発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じた。
- 三崎トンネル付近、瀬戸中学校付近等で道路寸断。
- 八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市の一部地区で、一時移転指示。

重点項目

- ▶ 感染症対策を実施した住民避難訓練
 - ・一時集結所、避難所における検温、手指消毒、マスク着用の徹底、体調不良者を専用スペースへ誘導
 - ・避難バスにおける健康者と体調不良者の分離、間隔を空けた着席 等
- ▶ 孤立地域における住民避難の多様化
 - ・道路寸断を想定した陸路、海路及び空路による避難(伊方町) ※大分県での受入自治体(大分市、日出(ひで)町)
 - ・離島住民の海上保安部巡視船による海路避難(宇和島市嘉島)
- ▶ 予防避難エリア及びUPZにおける住民避難体制の充実
 - ・宇和島市立間地区から愛南町への陸路避難
 - ・伊方町三崎地域から松前町への陸路避難
- ▶ ドローンの更なる活用
 - ・飛行ルート設定の自由化及び県消防防災ヘリの指示により、ドローンが退避する実機飛行実証実験(伊方町)



「伊方地域の緊急時対応」の主な改定項目（案）について

○新型コロナウイルスのような感染症の流行下における各種対策の具体化【新設】

- ・新型コロナウイルスのような感染症（以下、「感染症等」という。）の流行下において、万が一、原子力災害が発生した場合、住民等の被ばくによるリスクとウイルスの感染拡大によるリスクの双方から、国民の生命・健康を守ることを最優先とする考えの下、感染症等の流行下における各種対策の具体化を図る